

共同運営部門：がん治療センター

一概要一

がん治療センターの活動の一貫として、「がん治療検討委員会」を開催している。本委員会は、がん治療全般における円滑な治療の遂行及び薬物治療に関して適正な管理を行うことを目的としている。

「がん治療センター」は日本癌治療学会、日本臨床腫瘍学会、日本血液学会、日本外科学会、日本消化器外科学会、日本乳癌学会、日本肺癌学会、日本泌尿器科学会、日本頭頸部癌学会、日本耳鼻咽喉科学会をはじめ、各領域の悪性疾患治療に関する学会の指導医、専門医、認定医を擁している。化学療法、分子標的治療等薬物治療に関する臨床試験に多数参加し、胸腔鏡、腹腔鏡などの低侵襲手術も積極的に行っている。血液悪性腫瘍に関しては、造血幹細胞移植の適応を拡大し施行している。低侵襲治療として原発性および転移性肝がんに対するラジオ波焼灼療法だけでなく、早期乳がんに対してもラジオ波焼灼療法を研究的治療として行うとともに臨床試験等にも参加している。

また、各種悪性疾患の診断治療においては、治験や全国規模の臨床試験に深く関与しており、エビデンス構築に貢献している。これらの実績を基盤とし、従来行なわれている進行癌に対する集学的治療に加え、早期癌に対する新たな薬物治療、手術治療等に関しても、先進的な診断・治療を積極的に取り入れ、医療の質の向上に貢献している。また診断、治療方針を決定し難い症例を中心にカンサーボードにて多数の診療科専門医をはじめ、多職種による検討を積極的に行っている。

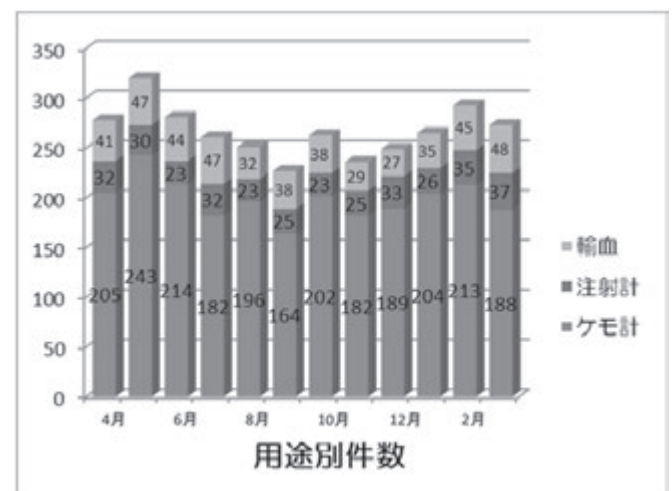
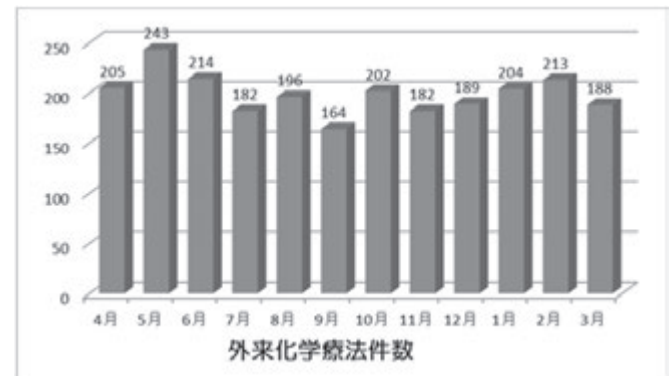
緩和ケアチームでは週一回の病棟回診を行っており、がん性疼痛コントロールや精神的不安等の軽減のため多職種による検討を行ない、方針を決定している。

一実績一

薬剤部からの報告

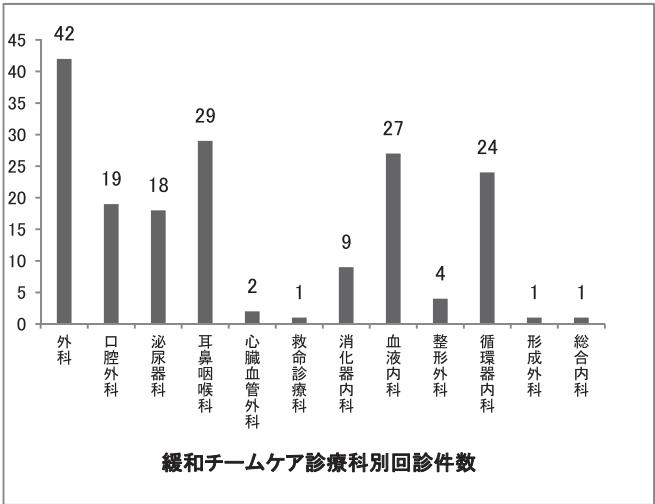
科学療法処方箋枚数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来	211	241	214	185	203	159	202	182	194	201	219	195	2406
入院	100	111	119	125	134	153	155	175	122	151	163	129	1637
総数	311	352	333	310	337	312	357	357	316	352	382	324	4043
ミキシング本数	472	532	480	456	513	453	530	534	456	499	540	474	5939

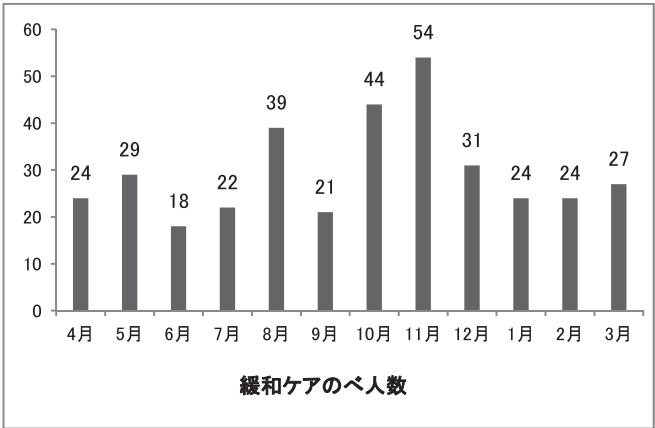


外来化学療法件数(2018年度)

月	外 (乳)	外 (大腸)	外 (胃)	外 (膵)	外 (他)	外科計	膠	肺内	消内	血内	泌	耳	脳外	口外	腎内	呼吸	整形	ケモ計	リウ マチ	ゾラ	フェン ソ デックス	ゾメ タ	ランマ ーク	レキ ー オ	アクテ ムラ	オレン シア	その他	注射計	加算計	オリ	情報	ポート フ ラ ン ジ	ポート 抜去	点滴	静脈 皮下	輸血	カン フ アレ ン	合計
4月	49	37	19	7	0	112	2	3	0	69	9	1	3	4	0	0	2	205	5	1	9	0	14	0	1	0	2	32	237	16	19	3	0	0	0	41	0	316
5月	62	40	34	5	0	141	0	5	0	72	11	0	4	8	0	0	2	243	4	0	10	0	12	1	2	0	1	30	273	14	16	2	0	0	1	47	0	353
6月	46	49	27	4	0	126	1	7	0	66	7	0	3	3	0	0	1	214	4	0	5	1	10	0	2	0	1	23	237	15	18	4	1	0	3	44	0	322
7月	46	43	21	5	0	115	0	7	0	41	9	0	4	6	0	0	0	182	5	2	8	0	12	1	3	0	1	32	214	16	20	2	0	1	1	47	0	301
8月	55	36	30	5	0	126	2	6	0	44	6	0	3	6	0	0	3	196	3	0	8	0	11	0	0	0	1	23	219	14	14	3	0	0	0	32	0	282
9月	52	34	22	8	0	116	1	4	0	34	6	0	0	1	0	0	2	164	3	1	6	0	13	0	0	0	2	25	189	18	18	3	0	0	0	38	0	266
10月	59	40	20	9	0	128	2	4	0	48	10	0	1	9	0	0	0	202	2	1	6	0	12	0	2	0	0	23	225	17	23	3	0	2	2	38	0	310
11月	53	33	21	7	0	114	1	3	0	48	6	0	2	6	0	0	2	182	4	0	6	0	14	0	1	0	0	25	207	21	31	1	2	5	0	29	0	296
12月	51	33	28	5	0	117	0	5	0	55	5	1	1	3	0	1	1	189	5	1	9	0	14	0	3	1	0	33	222	19	21	3	0	1	2	27	1	296
1月	47	35	21	4	0	107	0	7	0	74	5	2	1	2	0	1	5	204	1	3	11	0	9	0	1	0	1	26	230	18	26	3	0	1	0	35	0	313
2月	41	40	24	9	0	114	0	5	0	73	6	4	1	4	0	2	4	213	3	2	12	1	14	0	1	0	2	35	248	17	23	2	0	0	0	45	0	335
3月	39	36	27	6	0	108	0	0	3	59	7	5	1	1	1	2	1	188	5	0	15	0	9	0	6	0	2	37	225	14	14	5	0	3	2	48	0	335
月平均						119												199										29	227									310
合計	600	456	294	74	0	1,424	9	56	3	683	87	13	24	53	1	6	23	2,382	44	11	105	2	144	2	22	1	13	344	2,726	199	243	34	3	13	11	471	1	3,725



緩和チームケア診療科別回診件数



緩和ケアのべ人数

委員構成

医師 (14名)	診療局次長兼がん治療センター長兼外科主任部長	位藤 俊一
	診療局長兼血液内科主任部長	鳥野 隆博
	肺腫瘍内科部長	森山 あづさ
	耳鼻咽喉科部長	碓田 猛真
	口腔外科部長	大前 政利
	病理診断科部長兼検査科部長	今北 正美
	周産期センター産科医療センター長兼産婦人科部長	荻田 和秀
	放射線科部長兼中央放射線部長兼放射線治療センター長	稲場 文隆
	膠原病内科部長兼リウマチセンター長	入交 重雄
	呼吸器外科部長兼呼吸器センター長	大森 謙一
	泌尿器科部長	児玉 芳季
	脳神経外科部長	出原 誠
	外科医長	東 重慶
看護師 (6名)	看護管理室副看護師長	森 沙苗
	外来看護師兼急性期ケア推進室	杉野 幸恵
	外来副看護師長	平尾 美紀
	外来看護師兼急性期ケア推進室	樋口 紀美子
	8階海側病棟看護師長	射手矢 奈津子
	6階海側病棟看護師長	高畠 麻由美
薬剤師 (2名)	薬剤科部長	森朝 紀文
	薬剤科主幹	中川 直樹
MSW (1名)	MSW	下村 恭子
事務 (5名)	医療マネジメント課	守谷 美輝
	医療マネジメント課	平松 昌典
	医療マネジメント課	原田 あゆ
	医療マネジメント課	坂田 祐美子
		(株)ソラスト

臨床研究状況(一部抜粋)

試験簡略名または課題名
研究内容
Curebest™ 95GC Breast
新規乳癌症例を対象とした多重遺伝子検査「Curebest™ 95GC Breast」を用いた再発予後予測と個別化医療の実施及び入手データを用いた解析を行うための包括同意取得
RESQ試験
HER2陰性転移・再発乳がん患者を対象にエブリンとS1のHealth-related quality of life(HRQoL)を比較するランダム化第Ⅲ相試験
人工知能の利活用を見据えた超音波デジタル画像のデータベース構築
超音波画像と臨床検査データを収集する仕組みを整え、データベースを構築し、超音波診断を支援するAIを開発
Switch Maintenance Study
オキサリプラチン・ペバシズマブによる病勢コントロールが得られた進行再発結腸・直腸癌に対するTAS-102+Bevによる計画的維持投与(Switch Maintenance Therapy)の有効性と安全性に関する検討;多施設共同第Ⅱ相試験
アミノ酸試験(大腸)
血液中のアミノ酸および代謝物濃度を用いた大腸がんの新規バイオマーカーの開発に関する臨床研究
OGSG1701試験
高度リンパ節転移を伴う進行胃癌に対する周術期カペシタビンオキサリプラチン(CapeOx)療法の第Ⅱ相臨床試験
分科会Nivolumab免疫
切除不能進行・再発胃癌を対象としたNivolumabの治療効果を予測するバイオマーカーの探索研究
エノキサパリン試験
肝胆膵領域悪性腫瘍に対する術後静脈血栓塞栓症予防に対するエノキサパリン投与の第Ⅱ相ランダム化比較試験
胆膵ソナゾイド
胆・膵腫瘍性病変に対する、ソナゾイドによる造影超音波検査の臨床研究
SUPREMACY
骨髄不全患者における、PNH型血球割合とPNH関連の臨床症状を経時的にみる観察研究
日本における頭頸部悪性腫瘍登録事業の実施
データを集積して症例数、治療内容、生存率等の基礎データを計測し、日本における頭頸部悪性腫瘍医療の評価・発展に資することを目的
救療療法後再発・再燃性濾胞リンパ腫の予後に関する後方視的研究
救療療法後再発・再燃濾胞性リンパ腫の予後および予後に影響する因子を明らかにする
JALSG MDS212試験
高リスク成人骨髄異形成症候群を対象としたアザシチジン投与方法に関する臨床第Ⅲ相試験－検体集積事業に基づく遺伝子解析研究を含む－JALSG MDS212 Studyおよび厚生労働科学研究費補助金による検体集積事業との合同研究
去勢抵抗性前立腺癌に対するアピラテロンとエンザルタミドに関する無作為化割り付け試験
前立腺特異抗原(prostate-specific antigen:PSA)再発を来した去勢抵抗性前立腺癌に対するenzalutamide群とabiraterone群の有効性と安全性を比較検討することによって、enzalutamideの有用性を検証する

—今年度の成果と反省点—

 がんボード検討症例は多職種が参加し適切に検討されているが、がんボード開催頻度を増加させ、より多数の症例に対応することが今後の課題である。

—来年度への抱負—

 地域連携をより強固にしつつさらに安全、確実な診断、治療やエビデンス構築に貢献する。